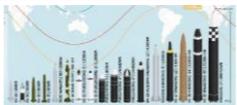


整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -151	2023/7/28	Japan's MoD Unveils New Image Of ASEV	日本国防衛省が新たなASEVの想像図を公表	Naval News 2023/7/28	 新たな防衛白書で「イージスシステム搭載艦」の新しい想像図が公表されました。外観はどう見ても大型イージス艦です。当初はイージスアショアのみを搭載するはずだったのが、いつの間にか各種戦に対応できる最強のイージス艦となりました。予算は足りても、この艦を動かすための乗員は足りるのでしょうか。イージスアショアは海自の人的負担減が目的の一つでした。	佐々木司
2023 -152	2023/8/1	Now Arriving: Flight III DDGs	いざ登場: フライトIII型DDG	Proceedings 2023/8/1	 プロシーディングス誌8月号から、DDG-51フライトIIIの登場と、これまでのイージスシステムの進化の歴史についての論説です。新型DDG(X)が現れるのは2032年頃とのことですが、戦闘システムはフライトIIIのイージスを引き継ぐようです。	岩崎洋一
2023 -153	2023/8/3	Anduril, Epirus to boost US Marine Corps drone defenses	AndurilとEpirusが米海兵隊のドローン防衛を強化	Defense News 2023/8/3	 米海兵隊用の高出力マイクロ波(HPM)兵器開発に関する記事です。百機を超える敵のドローン群攻撃に対し、機関砲やレーザーで1機ずつ撃墜するのでは不向きです。HPM兵器によって面で攻撃し、多数機を一気に撃墜する必要があります。我が国でも電子装備研究所でHPM兵器を開発していますが、一刻も早い艦載化が待たれます。	佐々木司
2023 -154	2023/7/21	North Korea's Nuclear Weapons and Missile Programs	北朝鮮の核兵器とミサイル計画	Congressional Research Service 2023/7/21	 広島原爆の日になんですが、周辺国の実態を伝える米議会調査局の報告です。(2023/8/6記)	岩崎洋一
2023 -155	2023/8/4	Ukraine Strikes Russian Landing Ship With Kamikaze USV	ウクライナが神風USVを用いてロシア揚陸艦を攻撃	Naval News 2023/8/4	 ロシア黒海艦隊の大型揚陸艦がウクライナによる自爆USV攻撃を受けて被弾、船体が傾斜したまま基地にえい航されていく写真がありました。自爆USVは遠隔操作で正確に機関室付近に命中しています。安価なUSVで大きな戦果を挙げられる良い例です。それにしてもロシア海軍は停泊中に見張りを立てていないのでしょうか。場所はノボロシスクのようです。	佐々木司
2023 -156	2023/7/20	Canada's Future Submarine Capability	カナダの将来の潜水艦能力	CDA Institute 2023/7/20	 カナダのCDA研究所(Conference of Defence Associations Institute; 国防とカナダ軍に関連する問題に関する情報に基づいた議論を進めることを目的とした研究所)が7月に発表したカナダの将来潜水艦の能力に関する報告書です。本報告書は、カナダにおける潜水艦の重要性、運用法、要求事項、就役後の態勢などについて、有識者による議論を進め、その結果をまとめたものです。この内容を通じて、2034年から配備を計画している、カナダが欲する潜水艦が窺い知れます。引続き、動向を注視して参ります。	本山泰之
2023 -157	2019/3/1	The Other Oceans in the Solar System	太陽系にある別の海	Proceedings 2019/3/1	 米海軍協会(USNI)から、プロシーディングス誌の過去の記事をYouTubeで映像化するという企画です。編集長のビル・ハンブレットが自らナレーターを務めています。今回は、2019年3月号に掲載された、「太陽系にある別の海」からです。暑いこの季節に一服の清涼剤としてどうぞ。映像は、 <a href="https://youtu.be/mqGwZXca6EE">https://youtu.be/mqGwZXca6EE</a>	岩崎洋一
2023 -158	2023/8/7	New Flight III Destroyer Deal Has Options for Up to 15 Hulls, Says Navy	新型フライトIII駆逐艦の契約には最大15隻建造のオプションがあると海軍が発表	USNI News 2023/8/7	 フライトIII契約の追加記事です。仮に両造船所が追加のオプションを行使すれば、隻数が今より増えると言っています。その代わり造船所は船体価格の削減を海軍に提示する必要があると思われます。	岩崎洋一
2023 -159	2023/8/7	Navy Awards Ingalls 6 Flight III Arleigh Burke Destroyers, Bath Iron Works 3 as Part of 5-Year Deal	海軍はインガルス造船所に6隻、バス鉄工所に3隻のフライトIIIアーレイバーク駆逐艦を、5年契約の一部として発注	USNI News 2023/8/7	 5年間のMYPで、インガルスとバスに6隻、3隻のフライトIIIが発注されました。1隻当たり、船体価格10億ドル、官給品10億ドルの、計20億ドルというアバウトな今までの数字が出ていますが、今回の契約額は機微な情報ということで公表されていません。海軍は今回の契約に際し、「両造船所の作業量の安定を含む政府と業界の目標を考慮し」、「2つの造船所を維持」することを考慮して、「制限的競争(limited competition)」を使って契約されたと語っています。どんな契約なのでしょう。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -160	2023/8/17	U.S. Flight III Destroyer Multiyear Deal Grows to 10 Ships, 3 Hulls Awarded in FY 2023	フライトIII駆逐艦の複数年契約は10隻に拡大、2023年度は3隻が契約	USNI News 2023/8/17	 フライトIII建造の追加オプションにより、インガルス社が初年度に1隻追加建造することになりました。5年間で10隻となりましたが、まだ5つのオプションがあり、最大で15隻を契約できるようです。	岩崎洋一
2023 -161	2020/3/1	Mapping the World Ocean Seafloor	世界の海底をマッピングする	Proceedings 2020/3/1	 プロシーディングス誌過去記事のYouTube化企画第2弾です。世界中の海底を100%マッピングしようという内容です。 ビデオは、 <a href="https://youtu.be/-FGyuZ-rX6c">https://youtu.be/-FGyuZ-rX6c</a>	岩崎洋一
2023 -162	2023/3/17	CNO Speaks at the McAleese 14th Annual FY 2024 Defense Programs Conference	マカリース第14回2024年度年次国防計画会議でのCNO講演	by Chief of Naval Operations Public Affairs 2023/3/17	 やや古いですが、2023.3.15にワシントンD.C.で行われたギルデイCNOによる年次講演と質疑応答です。米海軍の向かっている方向や予算状況、各種懸案事項などが伺える資料です。(下線は記者) <a href="https://www.navy.mil/Press-Office/Press-Briefings/display-pressbriefing/Article/3333208/cno-speaks-at-the-mcaleese-14th-annual-fy-2024-defense-programs-conference/">https://www.navy.mil/Press-Office/Press-Briefings/display-pressbriefing/Article/3333208/cno-speaks-at-the-mcaleese-14th-annual-fy-2024-defense-programs-conference/</a> 動画： <a href="https://youtu.be/zIOHwhAa0hQ">https://youtu.be/zIOHwhAa0hQ</a>	岩崎洋一
2023 -163	2023/5/9	Spanish Navy's LHD Juan Carlos-I To Be Powered With ABB's Azipod	スペイン海軍LHDファン・カルロス1世がABBアジポッドを搭載	Naval News Staff 2023/5/9	 本艦の推進システムは電気推進として、ジューメンス・ショットル社製アジマススラスタが装備されているが、ABBアジポッド(※)に換装されることとなった。これにより、低雑音化が図られるとともに推進効率向上により燃料消費量が低減し航続距離が延伸される予定である。なぜこのような大改造工事を行うことになったのか、現状のアジマススラスタに不具合が頻発して信頼性が低いのか、運用上の要求があったのか本記事では具体的には確認できなかった。以後、続報を待ちたいところである。	工藤悟
2023 -164	2018/4/6	How the Navy Punches a Nuclear Sub Through Arctic Ice	海軍はいかにして原子力潜水艦に北極の氷を突き破らせるのでしょうか	POPULAR MECHANICS 2018/4/6	 少し古いですが、米英潜水艦の氷海での運用について垣間見ることができる記事です。米英潜水艦は上方の氷の状態を知る装備や情報網と、相応の船体強度を有していることがわかります。氷海での浮上を可能にするには、適切な構造設計条件を設定する必要があります。氷は、結晶方向、気温に応じて強度が大きく変化する(補遺参照)そうですから、構造設計条件を如何にしているのか、非常に興味深いです。この分野は、自然が相手ですから、科学者をも巻き込んだ地道なデータの蓄積が極めて重要になると思われます。引続き、文献調査等を進めていこうと思います。	本山泰之
2023 -165	2023/8/19	USS Zumwalt Arrives in Mississippi for Hypersonic Weapon Installation	極超音速兵器装備のためUSS ZumwaltがMississippiに到着	Naval News 2023/8/19	 日米共同開発が決まった極超音速兵器の展望に関する記事です。米海軍はZumwalt級の主砲を撤去し、そこに極超音速ミサイル発射管を装備する計画です。海軍では1番艦Zumwaltへの装備完了は2025年を見積もっていますがGAOはプログラムの技術成熟度が実証について課題があるとして、その期日に疑問を呈しています。	佐々木司
2023 -166	2023/8/10	Spying Targets Point to Chinese Interest in Amphibious Warfare, Experts Say	スパイの標的から、中国が水陸両用戦に関心を寄せていることが判る、専門家指摘	USNI NEWS 2023/8/4	 保全是性善説で対応すべきではありません。記事では、30冊のマニュアル等を中国へ送ったとあります。日本で言えば縮刷、システム概説の取り扱い要領も見直すべきではないでしょうか。	川原梅三郎
2023 -167	2023/8/4	Two California Sailors Arrested on Espionage Charges	カリフォルニアの水兵2名がスパイ容疑で逮捕	USNI NEWS 2023/8/11	 純粋な水兵ではなく、軍属(米海軍職員)とされていますが、セキュリティ・クリアランスも保有しているようです。ハラスメント調査も大切ですが、保全の再チェックも必要です。	川原梅三郎
2023 -168	2023/8/1	Launch Mines from the Stratosphere	成層圏から機雷を敷設する	Proceedings 2023/8/1	 プロシーディングス誌8月号から、機雷を上空の気球から敷設するというアイデアです。日本の海上防衛に一考の余地はあります。それは別として、海上自衛隊の保有する6機のC-130RIに、昔あったCAMLS(Cargo Aircraft Mine Layer System)を装備すれば、いざというときに急速大量敷設ができるはずですが、今はどうなっているのでしょうか…。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -169	2023/8/24	Ukrainian Forces Plant Flag in Crimea Following Raid	ウクライナ軍がクリミア半島に旗を立てる	USNI News 2023/8/24	 ウクライナ軍がクリミア半島に上陸して戦闘後引き揚げたというニュースです。ウクライナ側が両用戦のできる海軍・海兵隊を持っていたなら、クリミア半島からの反攻はロシアにとって恐怖だと思います。3ページから読者コメントです。	岩崎洋一
2023 -170	2023/8/11	The Olenegorsky Gornyak Landing Ship Has a 3-Meter Hole after Attack in Novorossiysk	Novorossiyskで攻撃を受けた揚陸艦 Olenegorsky Gornyakには3メートルの破孔が生じていた	Defense Express(ウクライナの英語紙) 2023/8/11	 2023.8.4にノボロシスクでウクライナの自爆USVによる攻撃を受けた揚陸艦 Olenegorsky Gornyakの被害状況に関する記事です。記事のとおり、自爆USVの効果はSSMや機雷に匹敵しています。この艦は機関室浸水で大傾斜したということは左右舷に機関室があり縦隔壁で仕切られているものと推測します。それにして10度程度の傾斜で済んだのは奇跡でしょう。	佐々木司
2023 -171	2023/6/1	UNMANNED SURFACE VEHICLES: A FORCE MULTIPLIER FOR SURFACE FLEETS	無人水上船: 水上艦隊の戦力増強	EDR 2023/6/1	 沿岸海域での脅威が増す一方で、人員と予算を抑制するために各国海軍や企業は様々なタイプのUSVの開発を行っています。本解説記事は、欧州、イスラエル、シンガポールのUSV開発動向を解説しています。	清水隆